

# 全文検索くん(Search++)簡単導入の手引き

## はじめに

全文検索くん(Search++)はインデックス型全文検索ソフトです。

WindowsXP,Windows7,Windows Vista,Windows Server 2003/2008, Windows 8、Windows 8.1 で32ビット OS、64 ビット OS に問わず、稼働しますが、Windows XP の場合、事前に [Microsoft Visual C++ 2008 SP1 再頒布可能パッケージ](#)をインストールする必要があります。

本書は、いままでのバージョン(V3.0)に対してシステム導入する際必要な情報について説明するものです。新たなバージョンが出たら、その時の説明をご参照してください。また、OSによって、多少手順の異なるところがあるのですが、予めご了承ください。

## 導入手順

### 1. ダウンロード

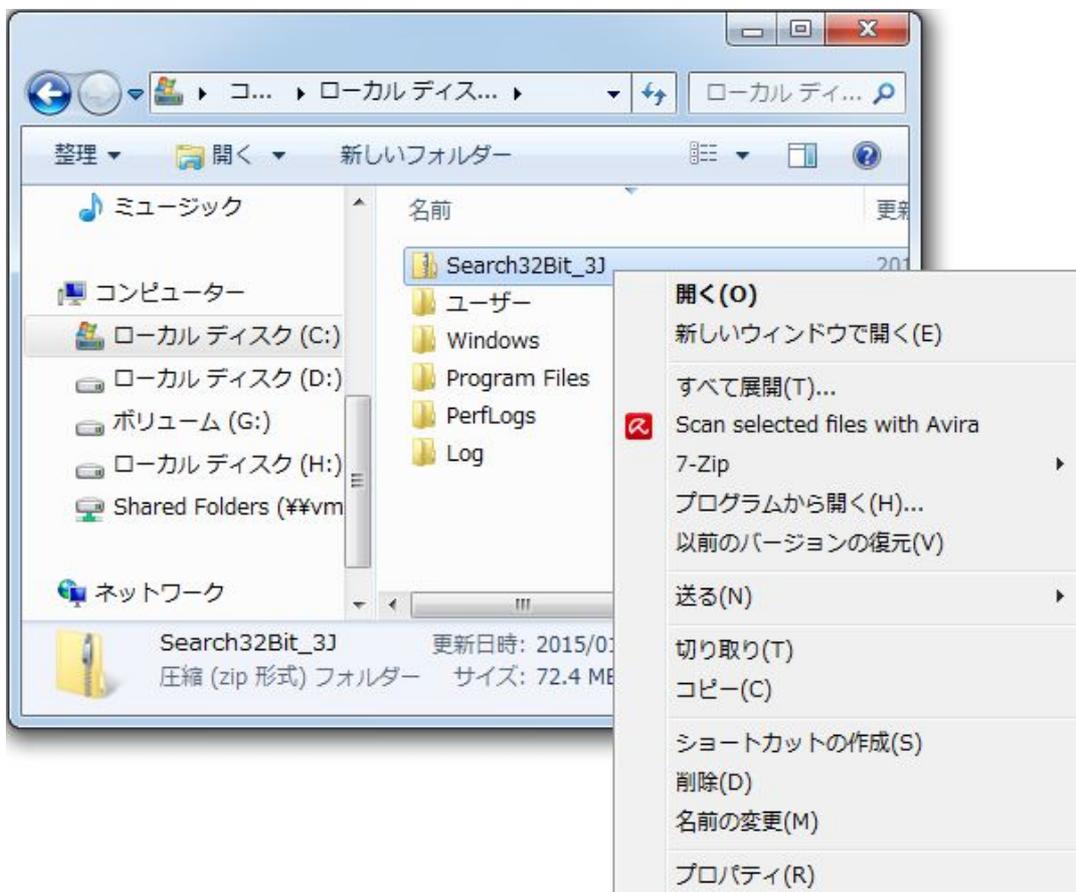
ベクター社からソフトウェアをダウンロードします。

<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/util/se498053.html>

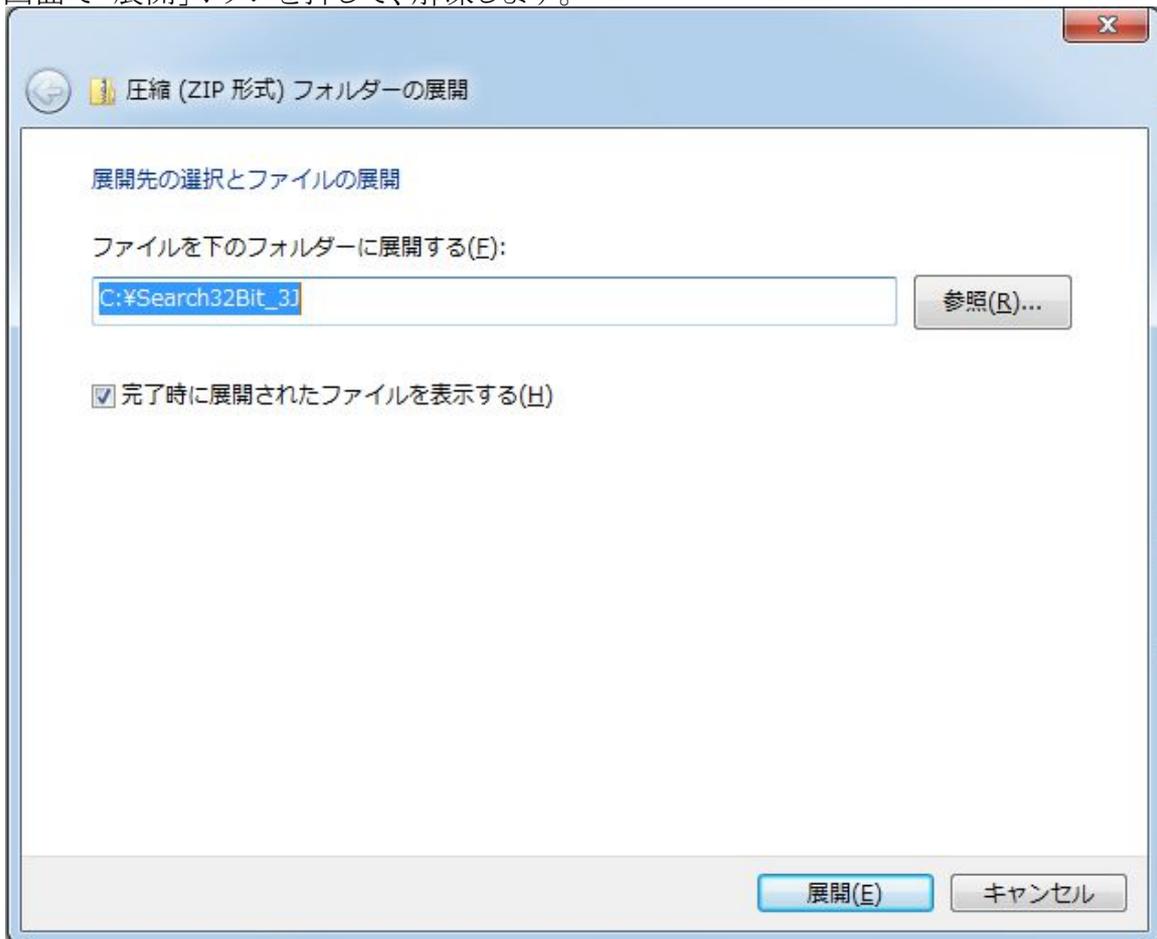
### 2. 解凍

ダウンロードした圧縮ファイルを C:\ 或は D:\ にコピーします。

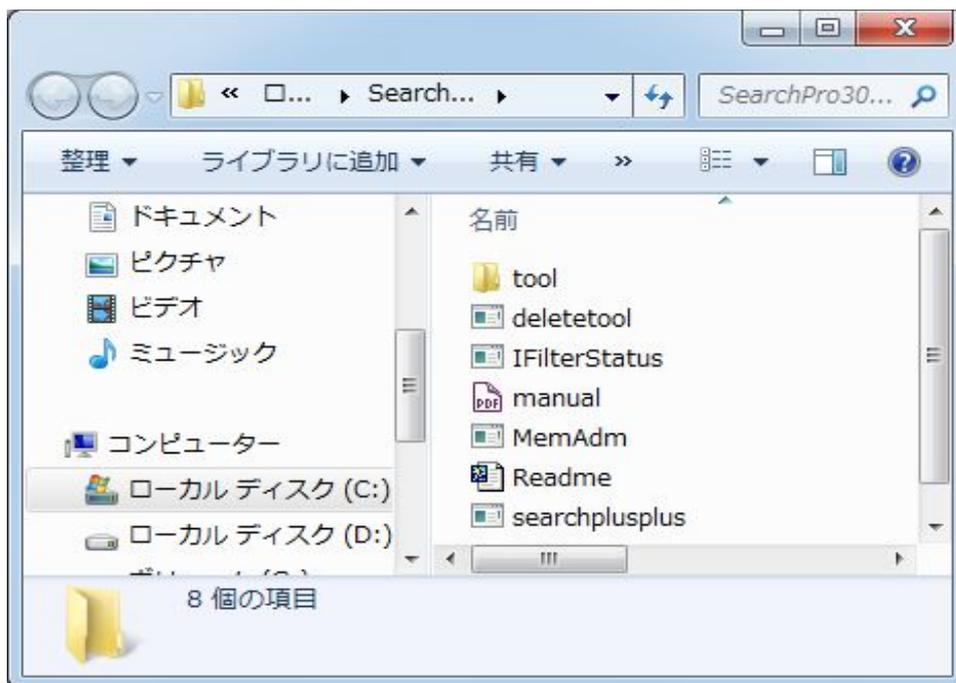
ファイルに右クリックして、出てメニューに「すべて展開」をクリックします。



次の画面で「展開」ボタンを押して、解凍します。

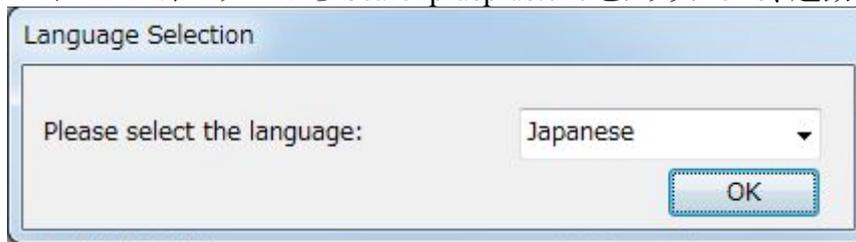


解凍が終わったら、次の画面が示したのように、C:\\$Search32Bit\_3J フォルダが作成され、解凍したファイルはその下になります。

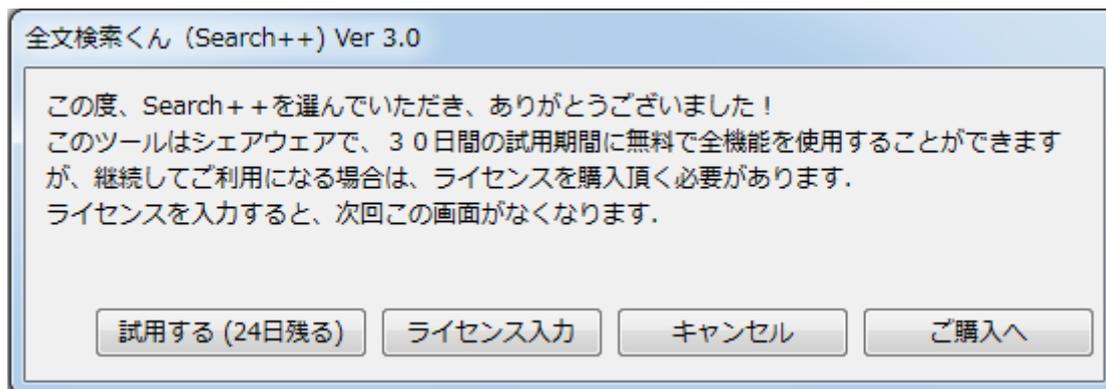


### 3. 起動

全文検索くんインストールフォルダーから Searchplusplus.exe をクリックして、起動します。

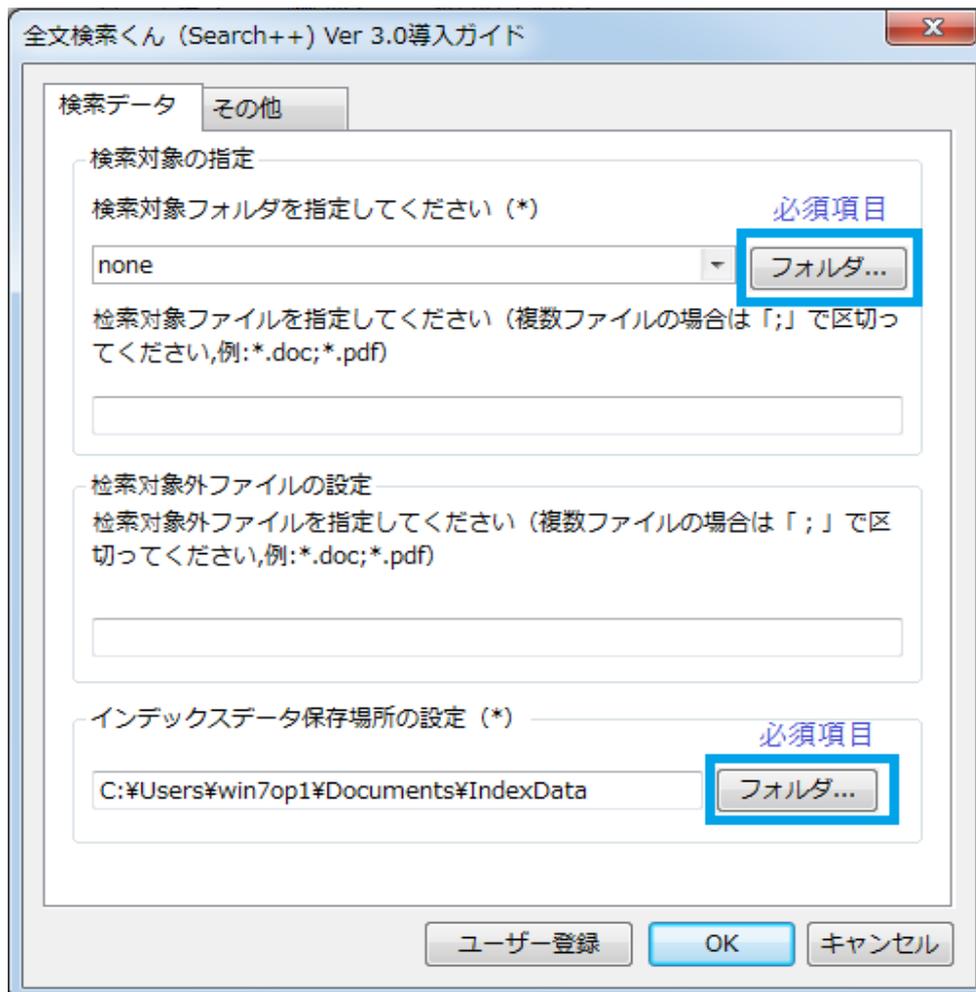


言語選択画面で日本語を選択しますと、下記の画面が表示されます。



「試用する」ボタンをクリックして、試用するか、ライセンス購入済みの場合、「ライセンス入力」をクリックして、ライセンスを入力します。ライセンスを入力したら、次回起動時、上記画面が表示されなくなります。「ご購入へ」ボタンを押すと、ライセンスの購入サイトを開いて、ライセンスキーの購入が行われます。

全文検索くんは30日間無料で試用できます、「試用する」ボタンを押すと、下記オプションの設定画面が出ます。



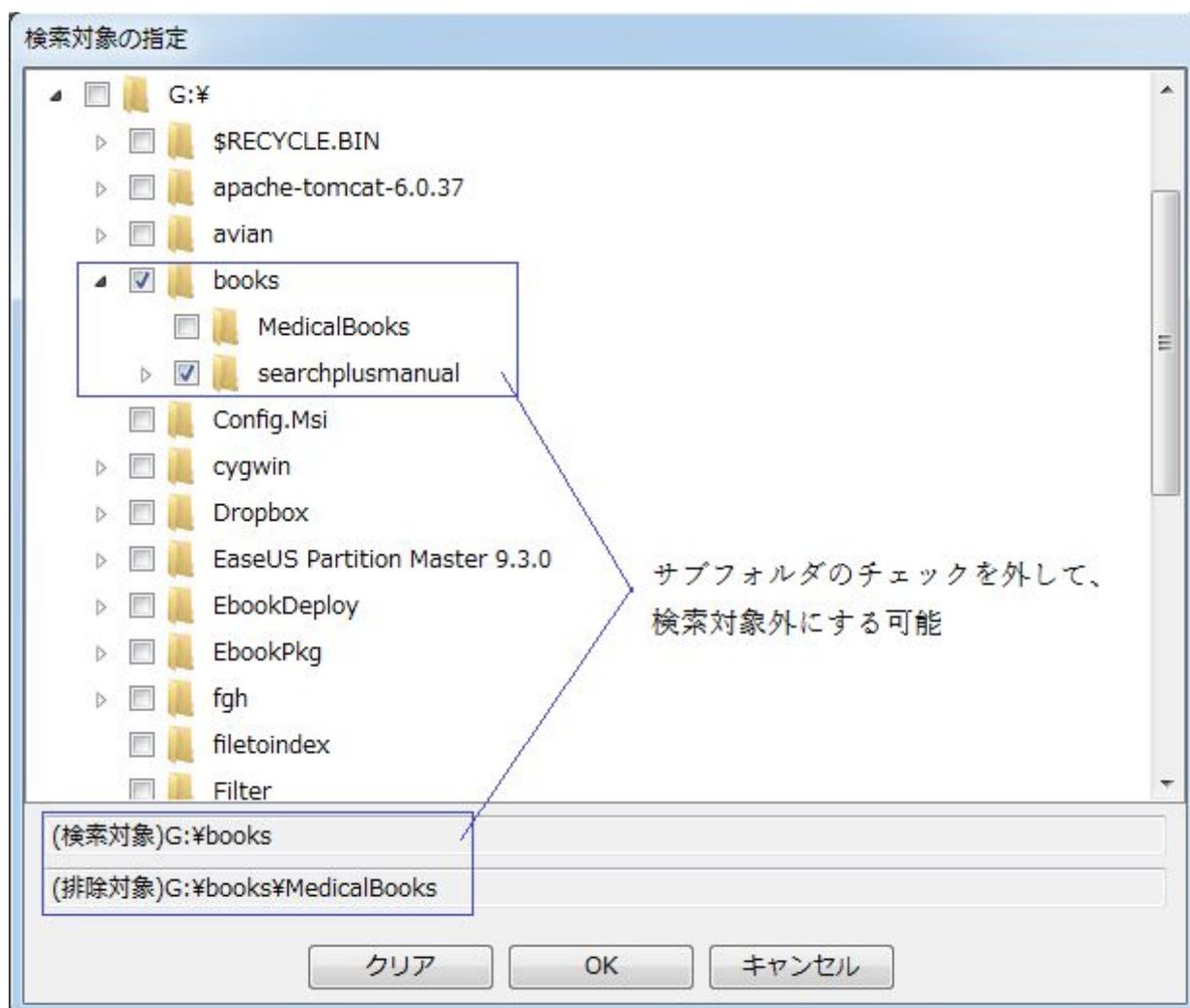
全文検索くんがインデックスを作成して、そしてインデックスデータを利用して、ファイルを検索する仕組みであるため、上記オプション画面で「検索対象フォルダの指定」、「インデックスデータ保存場所の指定」が必須となります。それぞれの「フォルダ」ボタンを押して、フォルダの指定が可能です。

インデックスデータ保存場所はデフォルトとしてカレントユーザーの Documents の IndexData フォルダーを指定されていましたが、違うユーザでも利用可能にするには、みんなのアクセスできるフォルダーを指定してください。

あと、ご利用 PC フォルダーの構造が変わったりがあつて、インデックスデータ保存場所は消えると、書き込みが失敗しました、オプション画面で再設定してくださいようなメッセージがでます。その場合、後で説明するメイン画面の「その他機能」ボタンを押して、「オプション」メニューを押したら、上記オプション画面で「インデックスデータ保存場所の設定」で再設定してください。オプション画面にある OK ボタンを押すと、「インデックス作成します」メッセージが出て、さらに OK ボタンを押すと、インデックス作成することになります。

検索対象フォルダーのサイズによって、処理時間がかかる場合もありますが、インデックスを作成したら、メイン画面で検索ボックスに文字を入れて検索が可能になります。

検索対象フォルダーのボタンを押したら、下記の画面が出ます。



フォルダにチェック入れたら、そのフォルダ及びサブフォルダは検索対象になりますが、個々のサブフォルダに対して、チェックを外して、検索対象外にすることも可能です。

## 5. 検索

オプション設定が完了したら、インデックス作成します。作成の進捗について、メイン画面の下部にあるステータスバーで確認できます。

インデックスの作成が成功したら、検索ボックスに言葉を入力して、検索できます。検索結果に対して、右クリックしたら、「開く」、「ファイル名コピー」、「親フォルダを開く」などなど各種機能のご利用が可能です。

再び、検索対象フォルダー、インデックスデータ保存場所を変更するには、メイン画面の右上の「その他機能」の「オプション」メニューを押してください。

メイン画面の右上の閉じる「×」ボタンを押すと、OSのトレイ領域に入ります。いつでも、ホットキーでメイン画面を呼び出すことが可能です。(ホットキーの設定もオプション画面「その他」タブで行えます。

「その他機能」の「終了」ボタンを押すと、アプリケーションが終了します。

デフォルト設定では、OS起動時に自動起動します。

